

すみだ郷土文化資料館だより

MIYAKODORI

みやこどり

みやこどり(ゆりかもめ)は、
すみだを舞台にした和歌に登場するなど
墨田区にゆかりのある鳥です。

すみだ
郷土文化
資料館
SUMIDA
LOCAL MUSEUM

第75号 2026年(令和8年)10月発行

ふるさととの出会い、ときめきへの旅。

すみだ郷土文化資料館

131-0033 東京都墨田区向島二丁目3番5号

☎(03)5619-7034 ☎(03)3625-3431

電話番号は正確に。

https://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryoku/kyoudobunka/index.html

E-mail sumida-htm@city.sumida.lg.jp

■開館時間

午前9:00～午後5:00 (入館は午後4:30まで)

■休館日

月曜日・第4火曜日(土・日・祝日は開館。

祝日に当たる時は翌平日休館)・

12月29日～1月2日

■観覧料

個人100円、団体(20人以上)1人80円、
中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・
療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を
お持ちの方及び介助の方1名は無料



企画展

護国寺五百羅漢図展

「すみだ五彩の芸術祭」連携企画

会期

前期：令和8年10月 3日(土)～令和8年10月25日(日)

後期：令和8年10月28日(水)～令和8年11月29日(日)

文京区の護国寺に所蔵されている
五百羅漢図30幅は、令和6年に区内
弘福寺の五百羅漢図6幅とともに、
東京都指定有形文化財(絵画)に指定
されました。

この五百羅漢図は、兆溪元明によっ
て延宝5年(1677)に制作されたもの
で、制作からすでに350年近くが経過
しています。それほど時間が経過し

ているにも関わらず、画絹(紙ではな
く絹に描かれていること)や彩色の状
態は極めて良いと評価されています。

兆溪元明(1636?～1734)は、黄檗
宗の画僧(絵師であり、僧でもあるこ
と)でした。兆溪は至徳3年(1386)制
作で京都東福寺に収められていた吉山
明兆(1352～1431)筆の五百羅漢図
(国宝)を写すことを切望し、模写した

といわれます。兆溪筆五百羅漢図は弘
福寺に納められた後に護国寺の什物と
なりました(現在弘福寺6幅)。

今回の展示では、護国寺に所蔵され
ている五百羅漢図30幅のうち、10幅
を前期・後期に分けて展示します。
また、残りの20幅はデジタル画像で
作成したほぼ実物大のタペストリーを
前期・後期で展示します。

○護国寺五百羅漢図一覧

番号	仮名称	展示時期
1	地獄への飛来	前タ
2	白蟒の調伏	前タ
3	經典奇瑞（僧道角法）	前タ
4	採蓮	前タ
5	浴室	前タ
6	燃香	前
7	青獅子／親子獅子	前
8	山羊の献花	前
9	鹿の献花	前タ
10	戦没者供養	前タ
11	説経／看経	前タ
12	剃髪	前タ
13	水官の来臨	前タ
14	樹中座禅／禅定羅漢の供養	後タ
15	施財貧者	後タ

番号	仮名称	展示時期
16	騎獣	前
17	岩窟での禅定	前
18	龍退治（阿波邏羅龍泉）	後タ
19	受胡輸驢	後タ
20	岩上の阿育王塔	後タ
21	長眉羅漢	後タ
22	餓鬼道への飛来	後タ
23	龍宮への飛来	後タ
24	阿弥陀画像供養	後タ
25	降雪／仙郷からの供養	後タ
26	展鉢（食事の支度）／飯僧	後
27	龍眼の治療	後
28	羅漢会	後
29	竹林致琛／孔雀	後
30	月からの飛来	後

註1：仮名称は、『大徳寺伝来五百羅漢図』（思文閣出版、2014年）の一覧表（300～303頁）を踏襲した。また、「東京都指定有形文化財（絵画）絹本着色五百羅漢図」（東京都教育委員会『東京都文化財指定等説明書』令和6年（2024）3月）を参照した。

註2：展示時期欄の表記：「前」＝前期、「前タ」＝前期タペストリー展示、「後」＝後期、「後タ」＝後期タペストリー展示



6 燃香



7 青獅子／親子獅子



8 山羊の献花



16 騎獣



17 岩窟での禅定



26 展鉢 (食事の支度) / 飯僧



27 龍眼の治療



28 羅漢会



29 竹林致琛/孔雀



30 月からの飛来